

議会だより

第15号

<http://www.town.fujikawa.yamanashi.jp>



**地域ぐるみで
お・も・て・な・し**
(穂積で門松づくり)

富士川町議会

検索

■ 12月定例会で決まったこと	2
■ 学校統合問題	4
■ 組合議会報告	5
■ 一般質問(10議員が登壇)	6
■ ふじかわ昔ばなし	16

十谷地区にへりポート

～ 県道沿い 十谷大型観光バス駐車場周辺に整備～

補正予算 7,580万円 一般会計総額 79億6,862万円

12月定例会では、条例の制定案1件、条例の一部改正案5件、補正予算案4件、指定案2件、計画の変更案1件、道路線の認定案1件、富士川町議会会議規則の一部を改正する規則の発委案1件、意見書提出案1件、継続審議申出書案4件、合計20案件について原案のとおり可決した。

おもな一般会計補正予算

- ・ 十谷へりポート整備事業工事費および補償費 ……4,000万円
- ・ 県道高下鯉沢線光ケーブル移設工事費 ……206万円
- ・ 桜回廊整備事業土地購入費 ……74万円
- ・ 重度心身障害者医療費等扶助費 ……970万円



十谷へりポート予定地

希望者が多い、住宅用太陽光発電システム設置費補助金

250万円を増額し合計610万円に!

平成25年度補助金交付件数状況

当初予算 360万円	在住者 50件 転入者 1件	補助金交付決定件数
12月補正 250万円	在住者 25件 転入者 5件	見込み件数

補助金上限額 町内在住者=7万円 町外からの転入者=15万円



普及が進む太陽光発電

24年度実績

補助額 4,082,750円

3～4kw未満	16件
4～5kw未満	21件
5～6kw未満	13件
6～7kw未満	4件
7～8kw未満	0件
8～9kw未満	1件
合計	55件

おもな条例改正

消費税増税等に伴う条例の一部改正
かじかの湯およびまほらの湯の利用料金が、
平成26年4月1日から次のとおり改正される。

かじかの湯

区 分	町 内		町 外	
	大人	小人	大人	小人
入浴休憩	430円	330円	640円	430円
個 室	5,000円			

まほらの湯

区 分	町 内		町 外	
	大人	小人	大人	小人
利用料金	430円	230円	640円	330円
個 室	3,000円			
備 考	1、小人とは小学生以下の者 2、満3歳未満の幼児は無料			

公の施設の指定管理者の指定について

富士川町地域健康福祉センターは、社会福祉法人富士川町社会福祉協議会に、
富士川町体験農園休憩交流施設「みさき耕舎」は平林活性化組合に、それぞれ
継続して指定された。指定期間は平成26年4月1日から平成31年3月31日まで。

リニア実験線を視察

9月に詳細なルートが公表され、町を縦断することがわかりました。

議会としても、さまざまな課題や影響に対応していくため、12月13日に都留市内のリニア実験線を視察しました。

今後も、議会として積極的に関わりを持ちながら、当局と共に対応していきます。



高架橋の下で状況確認

第3回臨時会

11月6日、第3回臨時会が開催され、
鵜沢小・中学校プール建設工事契約締結案1件、補正予算の専決処分承認案2件、条例の一部改正案1件、補正予算案1件の合計5案件について原案のとおり可決した。

おもな内容

条例改正

- ・富士川町鵜沢中部小学校閉校に伴う改正

補正予算

- ・鵜沢中部小学校閉校記念式典関係経費 476万1千円
- ・スクールバス3台購入費 1,933万円

スクールバスは、鵜沢中部小学校閉校に伴い、小学生の送迎として、鵜沢方面に2台、平林方面に1台を配置する予定。

第4回臨時会

11月28日、第4回臨時会が開催され、
富士川町スクールバスの購入についての契約案を可決した。契約金額は1,638万円。

適正規模
適正配置

に伴う 学校統合

鰯沢中部小学校26年3月閉校 増穂西小学校27年3月閉校

議会は、学校統合問題について、平成25年7月に「学校適正配置等調査研究特別委員会」を設置し、教育委員会から「学校規模適正化基本方針」、町から「統合についての考え方」の説明を受ける一方、学校適正配置等について調査研究を行ってきた。

10月30日開催の特別委員会において、教育委員会の基本方針および町の考え方を受け入れる旨意見集約し、11月6日開催の第3回臨時会において、鰯沢中部小学校を本年度末で閉校とする「富士川町立小中学校設置条例の一部を改正する条例」を可決した。



閉校が決まった鰯沢中部小学校



増穂西小学校



増穂南小学校

教育委員会の基本方針(抜粋)

富士川町における基本方針

学校の適正規模は、集団学習による教育効果を上げられるとともに、多様な人間関係の中で切磋琢磨しながら社会性や協調性、連帯感を培うための教育環境が必要。適正規模は、1学年1学級を下限とする。

富士川町における学校の適正配置

増穂西小学校は、増穂小学校に、鰯沢中部小学校は鰯沢小学校にそれぞれ統合。増穂南小学校は少人数教育を必要とする児童のために継続して存続する。

統合について町の考え方(抜粋)

鰯沢中部小学校は、鰯沢小学校に統合(統合時期は、平成26年4月)

増穂西小学校は、増穂小学校に統合(統合時期は、平成27年4月)

ただし、この間基本方針を満たすなどの条件が整えば閉校年度を検討する。

増穂南小学校は少人数教育を必要とする児童のため当面存続

組 合 議 会 報 告

峡南北部二病院 統合事務組合

峡南医療センター シンボルマークが決まる

峡南医療センターのシンボルマークは全国公募の結果150点の応募があり、大阪府和泉市の深川重一氏の応募作品に決定した。峡南医療センターの「K」と、病院の「十字マーク」をモチーフに組み合わせ、未来に向かって伸びる「若葉・新芽」、「大空に飛翔する鳥」をイメージしている。



経営管理局長を決定

峡南医療センターの経営管理局長は、前藤崎市立病院事務局長の中村徹氏に決定した。

25年度予算

総額13億9、400万円

12月の臨時議会で、総額13億9、400万円の予算となり、4月1日の開院に向けた準備が進められている。

平成24年度決算総括表

一般会計	歳入 16億225万円 歳出 15億7,710万円
介護保険特別会計	歳入 2億4,950万円 歳出 2億4,179万円
峡南ふるさと市町村圏特別会計	歳入 2,601万円 歳出 2,507万円

各町の負担金

富士川町	3億5,599万円
市川三郷町	3億3,308万円
早川町	7,155万円
身延町	3億2,627万円
南部町	2億1,939万円

峡南広域 行政組合

10月17日、峡南広域行政組合議会定例会が開催され、条例改正1件、補正予算3件の24年度決算認定3件が原案のとおり可決した。

平成24年度三郡衛生組合決算総括表

会計名	区 分	決算額	富士川町負担金
一般会計	歳入	1,854万円	302万円
	歳出	1,555万円	—
し尿処理事業	歳入	3億7,911万円	5,631万円
	歳出	3億7,039万円	—
火葬事業	歳入	1億8,731万円	1,721万円
	歳出	1億7,818万円	—
合 計	歳入	5億8,496万円	7,654万円
	歳出	5億6,412万円	—

三郡衛生組合

10月1日、三郡衛生組合議会定例会が開催され、24年度決算認定3件と組合公平委員の選任が行われ、原案のとおり可決した。

平成24年度中巨摩地区広域事務組合決算総括表

会計名	23年度負担金	24年度負担金
一般会計	316万円	327万円
ごみ処理特別事業	1億7,756万円	1億3,677万円
地区公園特別事業	76万円	71万円
老人福祉特別事業	314万円	269万円
勤労青年特別事業	558万円	397万円
し尿処理特別会計	0	0
合 計	1億9,020万円	1億4,741万円

中巨摩地区 広域事務組合

10月1日、中巨摩地区広域事務組合議会定例会が開催され、補正予算2件、24年度決算認定6件が原案のとおり可決した。

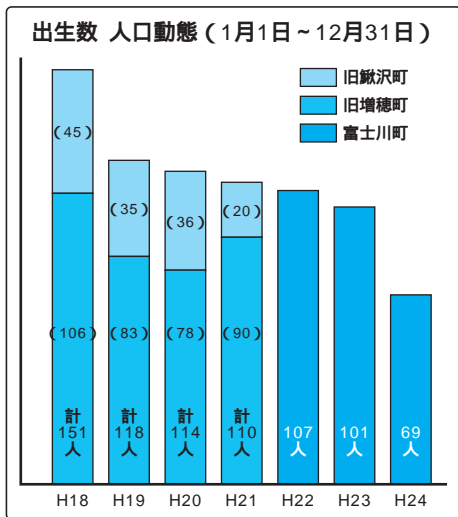
町政を問う 一般質問

問 少子化対策に独自の施策を

答 子育てニーズを把握し対策を検討



さめた洋平 議員



減り続ける出生数

問 減少している出生数の原因を、町はどう考えるか。
子育て支援課長 原因は未婚化、晩婚化、女性の社会進出による子育てと仕事の両立の難しさ、教育費の負担など、子育て環境上の問題が要因と思われる。
問 毎年、何人の出生を見込み目標にしているか。
子育て支援課長 100人前後の見込み。
問 施策がどう利用され、効果につながったかを評価する必要があらうと思うが。
子育て支援課長 次世代育成支援行動計画をもとに5年ごとに調査し反映させて

問 5周年記念に向けて具体的なイベント開催や、式典などの計画について伺う。
企画課長 26年度当初から27年3月8日の間で計画・実施する。事業は記念式典町の歌・鳥の制定、山車巡行健康ウォーキング、文化ホー

合併5周年記念は

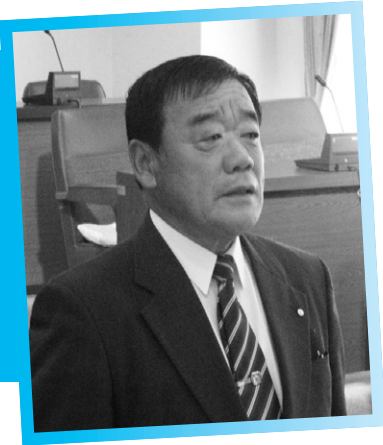
いる。実施状況の点検・評価は、次世代育成支援対策地域協議会を毎年開催し評価をいただいている。今後もニーズを把握し、少子化対策と子どもの健全育成のため、全力で取り組んでいく。
問 新聞アンケートで産み控えをしている人が3割に上った。人口減少は出生数を増やさなければ解決できない。早急に独自の対策をしなければならぬと考えるが。
子育て支援課長 子ども子育て会議を設置し、子ども子育て支援計画の策定にかかる調査を今年度実施する。調査結果を検証する中で対策を検討していく。

ルでの記念イベントなど。
問 町民のさらなる融和や町外へPRするよい機会なので、効果的な実施方法を検討する必要があると思うが。
企画課長 必要に応じ実行委員会を立ち上げる。山車巡行は町全体のイベントにできればと考えている。大法師さくら祭りや甲州富士川まつりは、既存の実行委員会を検討する。
問 ストーリー性を作り出すための会場に足を運んでもらえるような工夫をし、最終日の会場で記念品と交換する方法もよいと思うがどうか。
企画課長 それぞれのイベントで効果的な方法を検討する必要がある。提案は参考にする。
問 一過性ではなく、継続して人を呼び込む事業を考える必要があると思うが。
企画課長 資源を活用しての誘客は最も重要な施策のひとつ。三筋(平林・穂積・五開)の連携による観光振興計画を策定している。

問 次期町長選挙について

答 町民の皆さまに 真意を仰ぐ決意をした

深澤勝雄 議員



問 「暮らしと自然が輝く交流のまち」を目指し、数々の公約を実現してきたが、町長なりに検証した結果について何う。

町長 暮らしと自然が輝く交流のまちを目指し、6つの主要施策を掲げ町民の皆さまのご理解とご協力をいただき、職員とともに町民意識の把握と協働による施策を実施してきた。掲げてきた主要施策は、おおむね実現できている。

問 富士川町のさらなる発展に向け、これまでの歩みを止めることなく、さらに

着実に推進させ確たるものにする必要がある。さらなる合併については、本年3月定例会で齊藤正行議員の質問に対し、財政的メリットがないことから当面棚上げすると答弁されている。

多くの町民から引き続き町政に取り組んでほしいという意見や、各種団体から出馬要請があつたと聞いている。13人の議員からも出馬要請がされているが、町長の考えを何う。

町長 富士川町としての風土をつくり、町民の一体感の醸成に努めるとともに、峡南北部の地域医療を確保するため、市川三郷町とともに病院の統合や山王地区の土地区画整理事業にめどをつけ、南アルプス市と連携した観光振興など、近隣自治体とも連携した取り組みを実施してきた。

富士橋の架け替え、鬼島地区の国道かさ上げ、かわまちづくりなど方向性が見えてきたものもあるが、スポーツ施設や図書館、生涯学習

施設の整備充実をはじめ防災対策、賑わいのまちづくりなど、第一次総合計画全体としては道半ばである。

このほか、リニア中央新幹線の横断に伴い、沿線住民の対応やルート上にある公共施設の移転改築など新たな課題も発生している。

引き続き全力で町政に取り

り組んでまいりたいと考え、今度の町長選挙において町民の皆さまに真意を仰ぐ決意をした。

問 町道新設の詳細は。

町長 県道平林青柳線と町道青柳天神中条線を南北に結ぶ延長110メートル、幅員6・5メートルの道路を新設する。



開発が進む青柳町東部地区

問 リニア工事で町民体育館・児童館の移転は

答 児童館は現在地付近で検討



神田 智 議員

問 リニア中央新幹線の用地買収は、基本的にはJR東海が個別に買収するが、全国新幹線鉄道整備法には地元協力が求められている。町はどのような対応をするのか。

町長 用地買収などについては、まだ具体的な内容は不明であるが、JR東海から県に用地取得委託がされ、町へ協力要請があった時点で町としても買収に伴う調整に協力していく。

甲府新駅までの車道・歩道は

問 JR東海の用地買収は22m、高架橋は14m、両方に4mの幅員が予定されているが、甲府新駅までの車道・歩道はどのように考えているのか。

町長 甲府駅西部沿線地域活性化対策協議会で用地買収幅に、さらに片側4mずつを県が取得し、車道4・5m、歩道3・5mの片側8mの県道として整備するよう要望している。

電磁波・振動・騒音、沿線住民に体験を

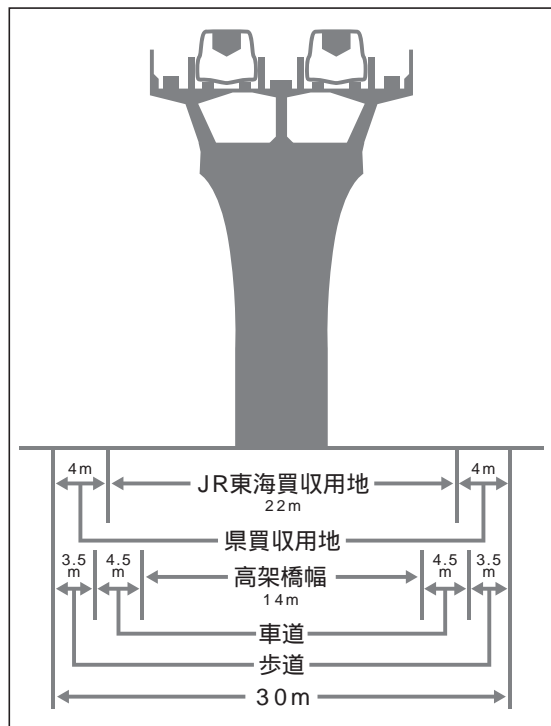
問 電磁波・振動・騒音は基準値内としているが、沿線住民はそのものを体験しないと分からない。体験してもらおう計画があるか。

町長 沿線100m以内の住民が約90人いるが、該当する方を対象に体験していただく計画をしている。その際には、磁場測定を実施し、確認できるようにしたい。

沿線住民の相談窓口の充実を

問 国の基準を参考にし、農地では日影による収量補償、住宅では暖房費や照明費、洗濯物乾燥などが補償対象となっているが、沿線住民の不安は強い。相談窓口を町はどのように考えているか。

町長 本年度から企画課にリニア対策担当を2人配置した。さまざまな心配事や相談事が発生してくると思



リニア中央新幹線予定断面図

われるが、住民の相談窓口として対応する。

問 町民体育館・児童館の2施設移転は、小林を中心として、旧利根川北側への移転の考えは。

町長 公共施設の再配置計画の中で検討するが、児童館は現在地付近で検討する。体育館は駐車場も含め、現状の4倍くらいの広い面積の確保が必要と考えている。再配置計画の中で、早急に検討する。

問 リニア工事前に 第一保育所駐車場の確保を

答 道路を渡らない 保育所近辺に考える

長沢けん 議員



問 利根川グラウンド、体育館、児童館がリニア建設予定地に当たる見込みだが、再配置計画の見直しを含め代替地について伺う。

町長 10年ぐらいの工事期間の間に移転先をみつけ、改築していく形になる。公共施設の再配置計画も、リニアの詳細ルートが発表されたので再度検討する。児童館については、今の場所付近が良いと考える。

問 リニア建設が始まる前に移転し完成させなければ、スポーツ振興や放課後児童クラブなどの住民サービス

に支障が生じるが、対応について伺う。

企画課長 新たな移転用地を検討していかなければならない施設については、利用者の皆さまに支障がないように対応していきたい。

問 現在、第一保育所の送迎は、利根川体育館の駐車場を活用している。工事が始まる前に新たな駐車場を確保しなければ送迎に支障をきたすが、対応を伺う。

子育て支援課長 駐車場用



第一保育所駐車場

地として、利根川ゲートポールの東側の駐車場を利用するなどして、確保していきたい。

問 工事が始まると工事車両が通るので、利根川沿いの道路を渡らずに、南側、西側、東側の近辺に新たに駐車場を設けてほしいがどうか。

子育て支援課長 そのように考えていく必要がある。

問 リニア建設施工中の工事車両に対する安全面の対

応を伺う。

町長 工事の手続き、協議の中で安全面への対策についてJR東海に要請していく。また施工中問題が生じた場合はその都度、安全措置を要請していく。

問 峡南医療センター 開設は

問 来年4月の開院時の医療センターの医師の数と、診療科の体制を伺う。

町長 構想では、開設時の医師数と診療科の体制について、医師数は常勤医として富士川病院へ12名、市川三郷病院へ8名が配置され、診療科は富士川病院が11科、市川三郷病院が15科である。現在この構想を基本に、両病院長および看護師等からなる診療ワーキンググループにおいて検討している。

人事発令が出るのは3月末だと思うが、数人の医師が増えると思われるので、診療科はその医師によって決まってくる。

問 病院経営のコンセプトを 明確にすべきでは

答 二病院統合に関し 経営方針、理念として示す

齊藤 欽也 議員



問 二病院統合事務組合事務局に、市川三郷町と富士川町から出向している幹部職員が退職あるいは休職中と10月末に聞いて驚いた。来年4月の新病院（峡南医療センター）開設に向け、二病院の医師の割合、診療科目・体制など調整が大変なことはあるが、何か問題があるのではないか。

町長 現在、両病院とも診療を行っているので、今後医師の数が増えれば診療科も若干増えると思っっている。そのことよりも事務局の体制や職員給与の調整、来年4月オープンというスケジュールの問題が負担になったのではないかと思う。

問 給与についていうと、統合時に公務員型でやることになっている。それは問題ではないと思う。

地域医療の永続的維持のためには経営の黒字化が絶対的条件である。

町長 明野処分場の問題もそうであるが「経営は黒字になります」と言いながら、頓挫するという話は、最大限に見積もったときの話です」となる。行政には基本的にそつしたものが多し。そうならないために、病院経営のコンセプトを明確にし、中身それ自体を変える必要がある。

大事なことは鯉沢（富士川）病院の内科に入院でき、24時間救急医療が受けられることであるが。



建て替え予定の市川三郷町立病院

川病院には常勤の内科医が配属される。内科入院ができるかどうかは、医師の数・看護師の数によって分らないが、開院時にはできるように要請している。

問 開院まであと4カ月しかない。これでは不安で仕方ないが。

町長 医師が来ても看護師がいなければ入院病棟を再開できない。まだまだ不足している。

町長 5年後に建て替える計画されている。医療センターが資金調達することになっている。両町でお金を出すという計画ではない。

問 健全経営であれば可能だが難しい。医療センターは自治体病院であるが。

町長 広い意味で自治体病院である。

問 ふるさと納税制度の積極的な活用を

答 財源確保に向けさらにPRをしていく

永井寛子 議員



問 ふるさと納税が今注目されているが、自分の生まれ育ったふるさとにしか寄付はできないのか。

企画課長 どこと特定されているものではない。

問 ふるさと納税で、ある自治体に寄付した場合、税の控除は具体的にどのくらいになるのか。また、寄付者への特典はあるのか。

税務課長 例えば、給与収入700万円で妻を扶養している方が3万円寄付すると、2万8千円税が控除される。
企画課長 特典として5万円以上の寄付者の場合、3



寄付者に送られるふるさと小包

千円程度の特産品を年3回ふるさと小包として送っている。

問 実質2千円でふるさとに寄付できるうえ、特産品も送られてくるわけで、大変有利な仕組みになっている。インターネット上では今さまざまな特典キャンペーンを張って寄付者を獲得し、町の活性化に生かしている自治体が増えているが、わが町でも積極的な発信を行って、町の活性化につながるような取り組みが必要ではないか。

企画課長 財源の確保やふるさとを思う気持ちを醸成してもらうなど、重要な制度であるので、今後もさらにPRをして寄付金の増収を考えていきたい。

問 男女共同参画推進条例は

問 男女共同参画社会とは、男性も女性も人権が尊重される社会ととらえているが、昨今、男女間の暴力(DV)やセクシュアルハラスメント、あるいはストーカーなど、女性への暴力が社会問題となっている。本町にもこういった問題はありますか。

町民生活課長 セクハラ、ストーカーの相談はない。しかし、男女間のDVの問題については、相談件数が増加傾向にある。

問 こうした問題は、男女共同参画推進条例の中にしっかりと入れていかねばならないが、ほとんどの町に条例がある中で、本町にはまだ条例がない。以前出された条例案を不完全なものとして議会は退けたが、あの条例案を策定した委員会は今どうなっているのか。

町民生活課長 まだ存続している。いま庁内で精査しているところである。

問 これまでも何度か早急の策定を求めてきているが、いつまで精査するのか。

町民生活課長 いつということはないが、精査が完了し、条例案が提案できるときがきたら提案する。

用語解説

DV(ドメスティックバイオレンス)とは一般的には、「配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者から振るわれる暴力」という意味で使用されることが多い。ただ、人によっては、親子間の暴力などまで含めた意味で使っている場合もある。

問 新病院の試運転期間は半年ぐらいか

答 混乱が生じない方策を考え進める



秋山 貢 議員

問 久保町長は、統合後の市川三郷町立病院の機能を充実させ、救急の受け入れ態勢を再構築すると公約に掲げていた。峡南北部二病院統合事務組合の基本構想に入っているのか。

町長 基本構想では病院の機能を分けている。富士川病院が救急と専門医療の基幹診療型病院。市川三郷病院は総合診療型病院として外来中心になる。また富士川病院で手術をし、安定期に移った人が市川三郷病院で療養する。久保町長の公約を富士川

町でも承知しているとか、事務組合で承知しているとかということは、全然相談もないことから、私が答える立場ではない。

問 志村町長は新病院を運営するには、最低でも半年ぐらいは試運転期間が必要だと言っていた。来年の4月から医師がくるから大丈夫というが、本当にそうなのか。

町長 医療についてはできれば試運転期間をとりたい。当たり前のことだと思う。しかし初めて医療を行うわけではなく、両病院も現に医療を行っている。システムの統合をソフト面と合わせ現在行っている。

3月からでも試運転できれば一番よいが、混乱が生じない方策を考えながら、それぞれのグループで検討し、地域の医療センターになれるよう頑張っている。

問 医療にミスがあるということは命に関わる問題である。試運転期間は町長の考えのとおり大事なことで



新病院へのスムーズな移行が望まれる鯉沢病院

ある。いろいろな事象が出てくると思う。何が原因でどのように改善していくのか。できるだけ早く医師や看護師の充実を図り、試運転できるようにしていただきたい。

朝市会場を病院跡地に変更する考えは

問 まちなかへ客を誘導するため、会場を検討できないか。

商工観光課長 現在朝市は平均42店参加している。口ソーンから寄贈していただ

いた建屋も活用している。病院跡地は商店街への客、職業安定所職員、役場職員の駐車場として利用しており、朝市の会場としては難しい。

問 出店業者の町内、町外の内訳は。

商工観光課長 町内が2割町外が8割を占めている。

「他の質問事項」

- ・ 公共施設再配置計画基本方針の策定について。
- ・ リニアへの町の対応について。

問 中山間地域に対し 地域力を高めるには

答 地域支援員を活用し 活性化に取り組む

市川 淳子 議員



問 富士川町総合計画の基
本計画の中に「みんなであ
え一緒に築くまちづくり」
を掲げ、地域や住民と行政
の協働により、地域力が生
かせるまちを目指すとするが
特に中山間地域に対しどの
ように行われ、何をこれか
らしていききたいのか。

町長 地域の課題を、
「地域でできること」
「行政の支援を受ければで
きること」
「行政が進めること」
の3つの区分に分類をして
計画を策定した。
町では、寄り合いワークショップ

ブの開催や地域支援員の配置、
地域力創造交付金制度など
を創設し、地域力向上を図っ
ている。その中で中山間地
域の中部区においては、24
年度に新たな特産品開発や
耕作放棄地の解消、婚活イ
ベントなど、さまざまな事
業を導入し地域の活性化に
努めている。

今後は三筋（平林・穂積・
五開）の地域が連携した、
農産物生産出荷販売の強化
のほか、県立大学と連携し、
農業体験ができる農家民泊
の可能性を調査・研究して



活性化が期待される中山間地域(平林から)

いききたい。この農家民泊の
可能性については、1月か
らはシンポジウムなども含め
本格的になってくると思う。
町としては、中山間地域
の振興と活性化に向け、積
極的に取り組んでいく。

問 中山間地域の高齢化、
少子化が進んでいる中、行
政は地元住民と共に活性化
を進めていくには、何が必
要と考えるか。

町長 今、道路が良くなっ
てきているので、その場に
雇用がなくても住環境はあ
る程度良いと思う。しかし、

情報化時代の中、中山間地
域でも都市・都会となんら
隔たりがない遜色のない光ケ
ブルなどの環境も必要とさ
れる。

そして何より中山間地域
では、コミュニケーションがと
ても大切になってくる。地
元住民が、どのように新し
い人たちを受け入れ、うま
くなじんでもらえるか、大
きな課題になってくると思
う。

問 中山間地域の住民は、今、
何とかして定住人口を増や
そうと必死である。行政と
して行えることはないか。

町長 中山間地域の施策と
しては、光ケーブルの敷設、
災害用ヘリポートの設置、
デマンドバスの運行、合併
浄化槽に対する助成、鳥獣
害対策として電気柵の設置
や集落内道路の整備、それ
に空き家バンク事業を実施
しながら、定住できる住環
境の整備に努めている。地
域と協力し定住促進ができ
るように、地域の良さをPR
していきたい。

中山間地域移住者に住宅支援制度を

土地購入や空家の借り手に助成を検討

井上光三 議員



問 中山間地域では、過小規模校の充実と地域づくりは一体と考えている。これまで、児童数確保を移住者の受け入れなどで行ってきたが、提供する住宅がなくて希望者があっても受け入れできない状況にある。町で定住促進住宅を建設して貸し出すことや、移住者が家を取得する際の補助制度が導入できないか。

町長 中山間地域への定住促進対策として、町営住宅の建設は考えていない。町有地に適地があれば一定期間居住する条件で提供する

ことや、民有地購入への助成さらに空家の借り手への助成などを検討していきたい。
問 過小規模校の充実、児童数確保の対策として、南アルプス市の芦安小学校のように、特定の教科に特化した指定校として特色づくりができないか。
教育長 町内の各学校で特色ある学校づくりを行っている。特定の教科に特化した指定校導入は、町内小学校のバランスや小中一貫指導への必要性など課題が多いことから、現時点で導入は考えていない。

中山間地域の活性化対策は

問 中山間地域活性化対策が進展していない。担当部署が縦割りになっていることが弊害となっている。「中山間地域活性化推進室」などを設置して、一元化して対策を講じていくような取り組みができないか。
町長 中山間地域の活性化対策は、それぞれの分野ご

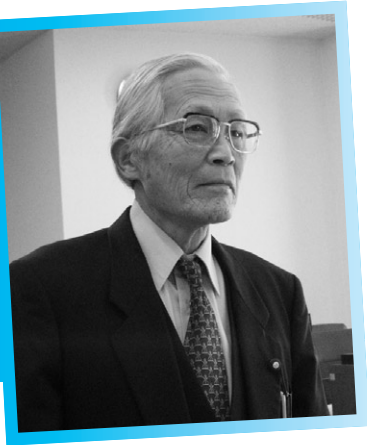


地域で移住者の受け入れ
出典:「いなか暮らしの本(株)宝島社」から

中山間地域農業の特産物生産は

自然環境生かし 農業振興で活性化図る

保坂 實 議員



問 平林の桃太郎トマト栽培について、町支援の考えは。
農林振興課長 トマト栽培を持続し、生産量を増やすため県の技術指導を仰いでいる。今後は圃場を整備するとともに保存のために保冷庫を設置して、安定した出荷ができるように支援する。
問 ホンモロコの養殖は国や県の補助で農協が試行してきた。知事は地産名「ふじかわもろこ」と命名して弾みをつけてくれた。地元農家への支援について町の考えは。
農林振興課長 JAふじかわに協力し、地元農家がふじかわもろこ養殖に参加できるように、コミュニティビジネスモデル事業として支援したい。

問 小室・高下地区のゆず栽培と六次産業化については、地元の増穂商業高校生が援農や加工商品化など販路を広げている。さらなる地産商品拡大や、特産物六次化への町の考えは。
農林振興課長 地元の「日出づる里活性化組合」の活動に、町では真空包装机や冷凍庫・冷蔵庫・ミキサーを導入を支援してきた。



特産物(ゆず)の加工製品

今年度は町の施設を利用してゆずジャムや果汁・ポン酢などを販売し、さらなる六次産業化を推進していく。
問 定住人口増について町の考えは。
企画課長 子ども医療費無料化の年齢拡大や老人のバスター料金無料化・医療体制の充実など、これまでの諸施策に加え、今後も本町に住みたくなる魅力あるまちづくりを進め、定住人口の増加につなげていきたい。
問 週末は「富士川町にいます」の、二地域居住生活の実現について町の考えは。

企画課長 県で山梨くらし支援センターを東京に開設して、都市住民の田舎暮らしを案内している。町は空き家バンク事業を進め、県と連携して希望者を募り努力したい。

観光案内は

問 観光で来町されたお客さまの満足度向上には、全町民の一期一会のおもてなしの心が大事である。町の考えは。
商工観光課長 町の魅力を広くPRし、受け入れ態勢の強化を総合計画に掲げている。観光施設だけでなく、各種イベントなどで町民の協力を得て、まごころのもてなしを実践していく。
問 町内観光ボランティアガイドの現状と今後の計画は。
商工観光課長 現在数名の登録があり活動している。ガイドの養成講座や学習会を実施し、観光振興を図っていく。

ふじかわ昔ばなし



禹之瀬

富士橋のすぐ下流の富士川が、いよいよ狭まって、「さかさ富士」といわれているあたりを、「禹之瀬」という。

大昔、甲府盆地一带は大きな湖だった。そのころ、この湖をきり拓き、良い土地を得ようとして「向山土本毘古王」が、約千人の人を率いて、甲斐の地にやって来た。湖のほとりの英村(今の笛吹市一宮町)に着き、さっそく小高いところのぼり、この湖の水をどこに

落とそうかと思案していると、大きな亀が現れ、一行を南の方、鵜沢の地に案内した。ここに着いた王は小高い所に仮の御殿を造り、率つれてきた人々も近くに住まわせて開削の工事にはいつた。

開削の工事は長く続いたが、後に「武渟川別命」や「塩海宿禰」がこの工事を継いで、湖水を干して盆地帯に良い土地を得ることに成功した。

王が開削のため、仮の御殿を造った場所が、今の「天戸」地区であり、湖の水がひいていくのを見た場所が「国見平」地区だといわれている。

開削工事の期間、高僧行基がこの地に寄り、大雨のたびに浸水に悩まされる人々を見て、天地の諸神・諸仏を念じて開削の度を一段と進められたともいう。

後に人々は王や命や行基の徳をたたえて、この事業を古代中国の「禹王」の業績に例えて、この地を「禹之瀬」と呼ぶようになった。

(鵜沢町誌から転載)

「おまけの話」

禹之瀬の名前の由来となる「禹王」は、古代中国の帝で、黄河の治水を行つた人であるが、黄河に棲む水神だつたともいわれている。

この開削を始めた「土本毘古王」は、甲斐の国の基を築いた人といわれ、開削工事完成後、今の笛吹市春日居町鎮目に屋敷を立て、後に屋敷跡は「山梨岡神社」となり、この神社が県名「山梨」の由来だともいわれている。

王は甲斐の開祖として崇められ、亡くなった後は、今の甲府市下向山町に葬られ、現在の佐久神社となつている。

また、佐久神社は笛吹市石和町河内、中道町上向山にもあり、蹴裂神社ともいい、神が湖水の一角を蹴り裂き、農地に変えたことから由来となつている。さらに、甲府市の穴切神社も湖水伝説の神を祀っている。

蹴裂神社は各地にあり、本町鵜沢鬼島のけさき神社は「武渟川別命」を祀っている。

議会クイズ

- 問題1. スクールバスを 台購入
 問題2. 一般質問は 人が登壇
 問題3. 24年太陽光発電補助実績は 件

《景 品》抽選で3名の方に図書券千円分を差し上げます。
 《応募要領》必要事項を記入の上、八ガキにて応募ください。

・答え ・郵便番号 ・住所 ・氏名
 ・年齢 ・電話番号 ・議会だよりの感想

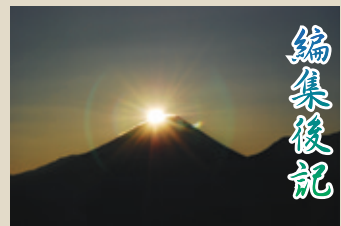
《宛て先》〒400-0592 富士川町天神中條1134
 富士川町議会議事事務局 行

《締め切り》平成26年3月末日(当日消印有効)
 《当選者の発表》商品の発送をもって当選と代えさせていただきます。

前回の答え

- (1)中学生の一般質問は14人。(2)決算総額は72億8,637万円。
 (3)プール整備事業費は1億5,836万円。

編集後記



新年明けましておめでとうございませう。

本年4月から、峡南医療センターが開設されます。

富士川病院は救急医療病院として、24時間の救急患者の受け入れが期待され、また、そのような病院にするのが期待されています。病院関係者は経営努力・住民サービスに努め、病院の独立採算を目指しています。地域に密着した病院として育てる努力が求められています。(神田 智)

広報

委員長 神田 智 副委員長 鮫田 洋平
 委員 保坂 實 井上 勝
 深澤 勝雄 井上 光三